

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名  
445 観光イベント事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業種別	継続		
事業期間	H20 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	観光課	澤本 博行	435-1234
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大・中事業		観光イベント事業	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 和歌山市において様々なイベントを展開し、県内外から観光客の誘致を図る。		全体事業概要			
			・紀州おどりの開催 ・和歌祭の開催			
事業内容		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		○スイム駅伝の開催 ※平成27年度については、紀州おどりと及び和歌祭については、地方創生(戦略交付金)の事業対象になっている。	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催	○紀州おどりの開催 ○和歌祭の開催

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20,382	19,404	19,404	19,404	18,863	18,615	23,713		23,713	
伸び率(%)	-	-	▲4.8%	0.0%	▲2.8%	▲4.1%	25.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	19,448	31,390	19,448	23,029	19,595	20,521	20,521	20,521	
	正規職員以外		209		421	2,671	2,420	2,420	2,420	
	小計	19,448	31,599	19,448	23,450	22,266	22,941	22,941	22,941	
国庫支出金	9,702	6,468					11,856		11,856	
県支出金										
市債										
その他										
一般財源(税等)	10,680	12,936	19,404	19,404	18,863	18,615	11,857		11,857	
所要人数(人)	正規職員	2.61	4.13	2.61	2.90	2.47	2.57	2.57	2.57	
	正規職員以外	0.00	0.10	0.00	0.19	0.48	0.48	0.48	0.48	
主な予算内訳	紀州おどり開催交付金 13,714千円 和歌祭開催交付金 9,999千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 イベント開催数	件	目標値	4	4	4	4	2
		実績値	2	2	2		
		達成度(%)	50.0%	50.0%	50.0%		
成果指標 観客動員数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
		実績値	173,000	155,000	180,000		
		達成度(%)	86.5%	77.5%	90.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している		横ばい	○	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	イベントの支援を行うとともに事前の告知、広告活動等を適切に実施することで、市外（県外）からの観光客誘致に取り組んでいく。
見直し・改善内容	紀州おどりについては、第50回を迎え、記念大会として記念イベント、記念品のプレゼントを実施する。 和歌祭については、2022年に和歌祭が400年を迎えるに当たり、祭りをグレードアップするため、新たな衣装の買い足し、インバウンドに向けてHPの多言語化をう。 地方創生交付金事業の認定を目指す。